

現在多数の会員医療機関から50万枚を超える申し込みをいただいております。  
このたび、さらに提供できるよう手配が整いました！

各位

2020年5月  
兵庫保険医協会

### 御希望の会員医療機関に 有料マスクを頒布いたします

平素は当会の活動にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。また、大変な状況の中、地域住民に対する第一線医療の提供に、心より敬意を表します。  
さて、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、医療機関においてもマスク確保が困難な状況が続いております。各医療機関におかれましても、苦心しながらのやりくりを余儀なくされていることと思います。協会にも多くの医療機関から問い合わせをいただいておりますことを踏まえ、このたび**一定数の有料マスクを準備させていただきました。必要な方は下記FAXにてご連絡ください。お申込みいただき次第、順次発送させていただきます。また、今後も継続的に供給できるよう、マスク確保に努力してまいります。**

不織布三層構造マスク 1箱 50枚入り 2,150円(税・送料別)

【マスク注文FAX：078-393-1802】 兵庫保険医協会・事務局宛

<input type="checkbox"/> 6箱 300枚セット (12,900円税・送料別) [     ]セット <input type="checkbox"/> 50箱 2500枚セット (107,500円税・送料別) [     ]セット ※セット枚数は包装の都合上の区分ですので御了解下さい	
医療機関名	会員氏名
住所：〒     -	(担当者氏名)
TEL	FAX

※代金は、先生方の会費口座から引き落とさせていただきます

## 兵庫県保険医協会 336号 2020年5月25日 神戸支部ニュース

発行 兵庫県保険医協会神戸支部  
連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F  
兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1801 FAX/078-393-1802

クイズで考える日本の医療2019スペシャル 応募9千件超

# 安心して歳を取れる社会保障を

地元グルメ商品当選者が決定

協会が3月末まで実施した景品付きクイズチラシ「クイズで考える日本の医療2019スペシャル」には、合計9141通の応募があり、「日本の年金積立金が200兆円もあることを初めて知った」「安心して医療・介護を受けられるように」と神戸市からも年金・社会保障制度の改善を求める声が、多数寄せられた。4月22日の政策・運動・広報委員会で、兵庫県内のグルメをプレゼントする当選者182人の抽選を厳正に行った。

このクイズチラシは、毎回、日本の医療制度の問題点について、市民の方にクイズを通して知っていただくことを目的に実施しているもの。  
今回は、「2000万円問題」をきっかけに日本の年金制度について関心が高まったことを受け、スペシャル版として、初めて年金をテーマとして取り上げた。  
貯蓄が2000万円未満の高齢者世帯の割合や、年金積立水準の国際比較などを通して、日本の低年金の現状を明らかにするとともに、世界一高い積立金を活用すれば年金支給額を引き上げられることが分かるような内容となっている。また、政府の進める医療や介護の負担増計画ではなく、負担を減らすことこそが、安心して暮らせる老後に必要ではないかと問いかけている。

12月から3月までの4カ月間、会員医療機関または協会ウェブサイトから、



クイズの応募チラシ

(2面につづく)



（1面からのつづき）

の応募を受け付けた。正解者の中から50人に1人の割合で、ハムやソーセージ、洋菓子、コーヒーなど、グルメ商品が当たる。景品付きクイ

ズチランは2005年開始以来、毎回好評を博している。患者・市民に、楽しみながら日本の医療に関する情報を知ってもらえるのが魅力となっている。

## 神戸市内の応募者からの声

# 年金・社会保障について学べた

神戸市内の応募者から寄せられた声の一部を紹介する。

- ・年老いても安心して暮らせることができるようになればうれしいです。衣食住だけではなく、憲法にあるような健康で文化的な生活を望みます。（長田区、71歳）
- ・消費税10%にする時に、社会保障に全て充てると言われていたのに、国の借金返済にほぼ充てられ、法人税減税をして社会保障はごく一部。・・・「老後へ2000万円貯めろ」麻生大臣は言っていました。大臣の“飲み代”は年間2019万円だと報道されており、少ない家計で必死に子育てしている者として1泊の家族旅行にも行けずにいるのに、到底納得できるものではない。・・・今でも医療費が家計をひっ迫しているのに、医療費患者負担増にしてさらに苦しめるのはやめて欲しい。・・・
- ・障害者1級の親がいます。弱者いじめはやめてほしい。弱者が生きていけるための施策を考えて欲しい。生きていくだけでも必死なのに、貯金もできないのに、私たちに死ねと言っているようにしか感じない。これは、国の弱者いじめ。年収300万円以下で生活する政治家に施策を考えてもらいたい。（灘区、50歳）
- ・世界一の積立金を有効活用してくれるよう、切に願っています。（東灘区、30歳）
- ・ラジオ関西の寺谷さんの番組を拝聴しており、保険医協会様の主張に賛同しております。（西区、56歳）
- ・遺族年金で生活している人はたいへん厳しい状況です。介護の利用負担は高齢者本人はよくわかっていないと思います。わからないままどんどん負担が増えたり、利用できるものが減らされていくのはひどいと思います。安心して医療や介護を受けられるようにして欲しいです。ぜひ賛同したいです。（東灘区、42歳）
- ・40年以上真面目に働き年金かけたのに、60歳過ぎても貰える金額が少ないから働いていたら、停止期間とかで減額されてます。本当におかしな年金制度ですね。（須磨区、62歳）
- ・医療費の負担が増えると、病気の初期の段階である、軽い痛みや違和感を我慢してしまい、病気が進行するまで、受診しない恐れがあるので、絶対にやめてほしいです。（須磨区、42歳）
- ・勉強になった。年金積立金200兆円もあるのを初めて知った。年金の財源を、法人税からもっと取るべき。企業に内部留保400兆円もあるのが異常に大き過ぎる。（垂水区、80歳）
- ・自分の将来の年金についてもっと知ることが必要だと気づかされました。政府が年金積立金をどういうつもりでためこんでいるのか真意を確かめたいです。（北区、49歳）

## 支部ニュースへの投稿を募集しています

日常診療に関わることや、主張、趣味のお話などを協会までお寄せください。

☎ 078-393-1817 / FAX078-393-1802 e-mail akane@doc-net.or.jp

神戸支部担当・大野まで

## ラジオ関西 “医療知ろう！”

# You Tubeでぜひご覧下さい

神戸支部から13人が出演



毎年10月から3月に放送している協会提供のラジオ関西番組内コーナー「医療知ろう！」の今期放送が終了した。神戸支部からは13人の先生が登場。パーソナリティの寺谷一紀氏とアシスタントの犬塚あさな氏とのかけあいを通して、さまざまな医療の情報を伝えた（下表）。

今回初出演となるのは辛龍文先生、鷲尾隆太先生と楠木重範先生、森信早穂子先生、三村純先生。

辛龍文先生は昨年11月14日に出演し、パーキンソン病の原因と実際の治療について説明した。鷲尾隆太先生と楠木重範先生は、1月2日の放送で全国で初めての病気のこどもたちが家族と一緒に暮らせる有床診療所である「チャイルド・ケモ・クリニック」について紹介した。



（写真上）パーキンソン病について語る辛龍文先生

（写真下）森信早穂子先生（左端）とパーソナリティの寺谷氏（右端）、アシスタントの犬塚氏（中央）



1月2日に出演した鷲尾隆太先生（右）と楠木重範先生（左）

森信早穂子先生は1月30日に、「関節リウマチの特徴と対策について」をテーマに、病気の原因や最新の薬剤治療について分かりやすく語った。三村純先生は3月5日に出演し、胃がんの原因やピロリ菌感染検査について詳しく知らせた。

※これらの模様はYou Tubeでご覧いただけます。協会ウェブサイトのトップページのバナーをクリックするか、右のQRコードからアクセスできます。ぜひご覧ください！



ラジオ関西「医療知ろう！」神戸支部からの出演者一覧（2019年10月～2020年3月）

月	放送日	曜日	テーマ	出演者
10月	24日	木	「保険でより良い歯科医療」運動	須磨区 加藤擁一先生
11月	7日	木	ラグビーワールドカップとスポーツ歯科	灘区 鈴木明彦先生
	14日	木	パーキンソン病ってどんな病気？	中央区 辛龍文先生
	21日	木	今年のインフルエンザ	長田区 田中孝明先生
12月	5日	木	皮膚に良い光・空気、皮膚に悪い光・空気	中央区 加茂統良先生
	12日	木	糖尿病、認知症と歯科の関わり	須磨区 坂口智計先生
	19日	木	白内障の治療法	東灘区 山中昭文先生
	26日	木	必ずストップ！患者負担増	北区 川西敏雄先生
1月	2日	木	小児がん患者の子どもたちを支援するために	中央区 鷲尾隆太先生、楠木重範先生
	30日	木	関節リウマチの特徴と対策について	西区 森信早穂子先生
2月	6日	木	花粉症対策と治療の最新事情	中央区 丸山晋先生
3月	5日	木	胃がんとピロリ菌について	垂水区 三村純先生